

スピードドーム カメラ

OS-C148

取扱説明書



目次

1.	概要	3
1.1.	製品紹介	3
1.2.	構成	4
1.2.1.	各部名称	4
1.2.2.	OS-C148 ベース基盤	4
1.2.3.	OS-C148 コントロール基盤	5
1.3.	接続	6
1.4.	簡易操作手順 (OS-E830)	7
2.	OS-C148 設置	8
2.1.	同梱物一覧	8
2.2.	ケーブル	9
2.3.	初期設定について	10
2.3.1.	アドレス設定	10
2.3.2.	通信プロトコル設定	13
2.3.3.	ボーレート設定	13
2.3.4.	ビデオフォーマット設定	14
2.3.5.	RS-485 接続時の終端抵抗	15
2.4.	設置方法	16
2.4.1.	設置必要部材	16
2.4.2.	壁付設置	16
2.4.3.	屋内取付	169
3.	機器との接続方法	21
3.1.	OS-E830 との接続方法	21

3.2.	DVR との接続方法	22
4.	OS-C148 カメラ設定メニュー	30
4.1.	設定メニュー概要	30
4.1.1.	カメラ設定メニュー	31
5.	OS-C148 機能設定と操作	36
5.1.	マニュアルコントロールモード	36
5.2.	自動パンモード	37
5.3.	プリセット設定	38
5.4.	ツアーモード	40
5.5.	アラーム発報時のプリセット/ツアー連動	42
5.6.	その他の操作	43
APPENDIX A:	アラーム I/O 接続	44

1. 概要

1.1 製品紹介

高性能なハイスピードドームカメラ「OS-C148」は監視カメラシステム用として開発されました。高性能 CCD チップを搭載し、光学 18 倍・デジタル 12 倍ズームが可能となっており、よりクリアで鮮明な映像を映し出すことが可能となりました。その他の主な特徴につきましては、下記をご参照下さい。

- 自動高速のフォーカス機能により検索速度と精度の向上
- オートアイリス機能搭載
- ホワイトバランス機能により影となる部分も鮮明表示
- BLC 機能により背景色が明るい場合でも鮮明表示
- カラー/モノクロ映像を光量に合わせて自動切換え

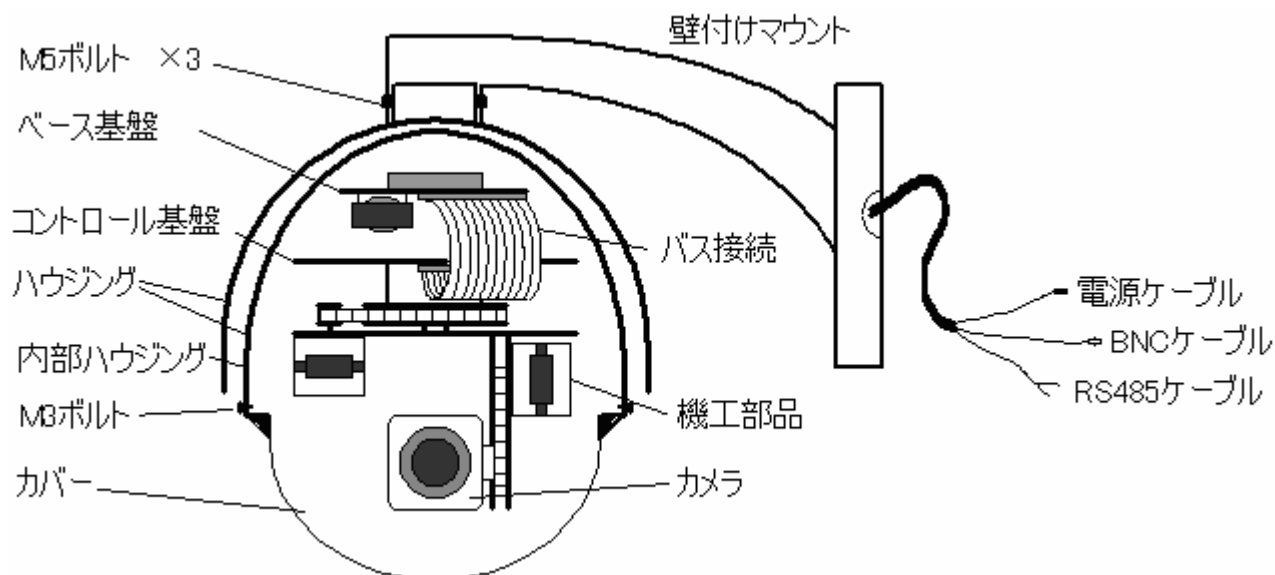
さらに動作速度は $0.01^{\circ}/\text{sec}$ から $360^{\circ}/\text{sec}$ の範囲で正確な動作を行います。また各プリセット位置に 1 秒以内に移動する事が可能です。

- 192 プリセット位置設定可能
- 16 ツアー設定可能で各ツアーには最大 16 プリセット位置を設定可能
- RS485 接続で最大 255 台のスピードドームカメラを 1 台のキーボード「OS-E830」にてコントロール可能
- ヒーターとファン機能
- 4 アラーム入力 / 1 アラーム出力

これらの全機能は銀行、空港、駅、カジノ、街路、インテリジェントビル等の幅広い範囲での使用を可能にします。

1.2 構成

1.2.1 各部名称

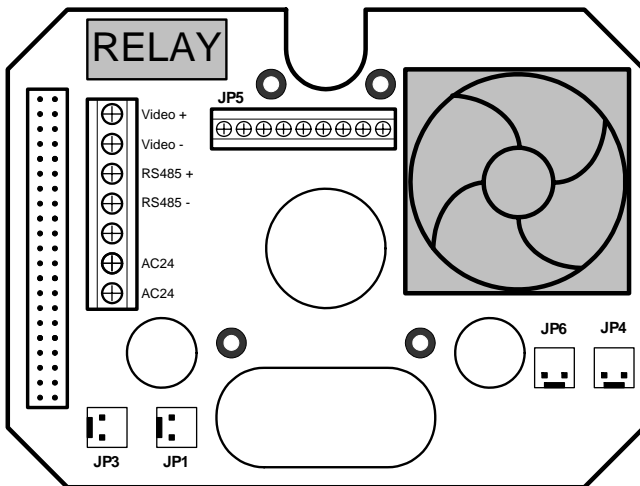


1.2.2 OS-C148 ベース基盤

ベース基盤には電源、ビデオ、カメラコントロール、アラーム入出力、ファン、ヒーターのケーブルを接続します。接続する各ケーブルにはコネクタが用意されておりベース基盤にその詳細が白く印刷されています。アラームコネクタ(JP5)の詳細は APPENDIX A (P29) に記載されています。

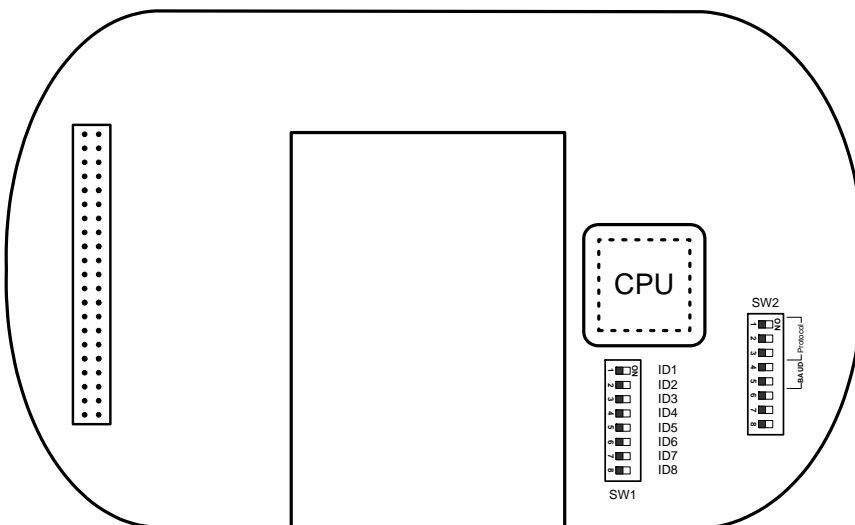
JP1, JP3, JP6 は 2P コネクタとなっており設置の際には脱着する事が出来ます。

JP1, JP3 はヒーター用のコネクタで JP6 がファン用のコネクタになります。

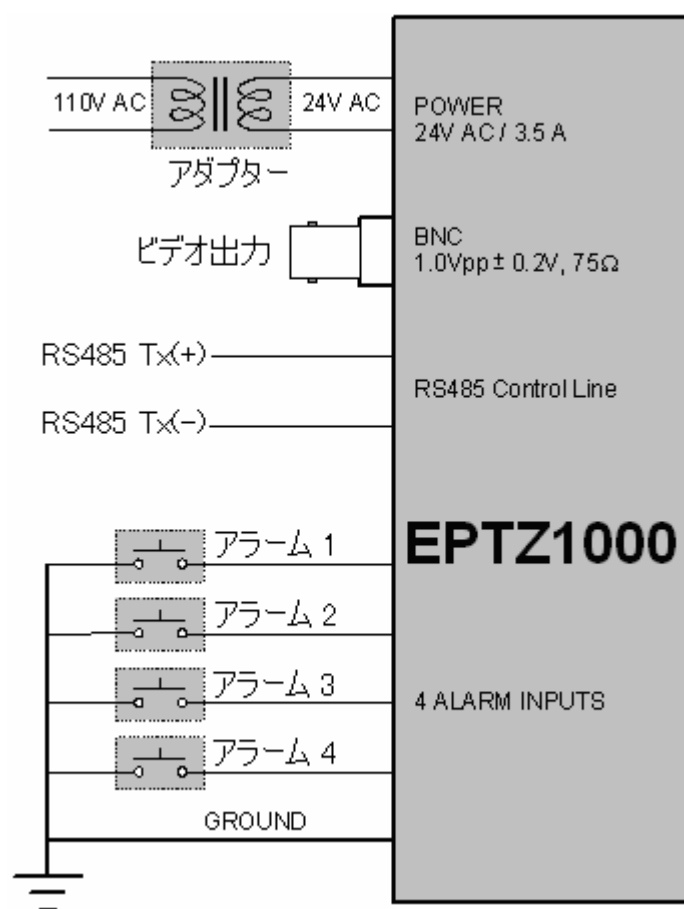


1.2.3 OS-C148 コントロール基盤

「OS-C148」のコントロール基盤には2つのディップスイッチがあります。それぞれのディップスイッチでアドレス、プロトコル、ボーレート、ビデオフォーマット、終端抵抗の設定を行います。



1.3. 接続



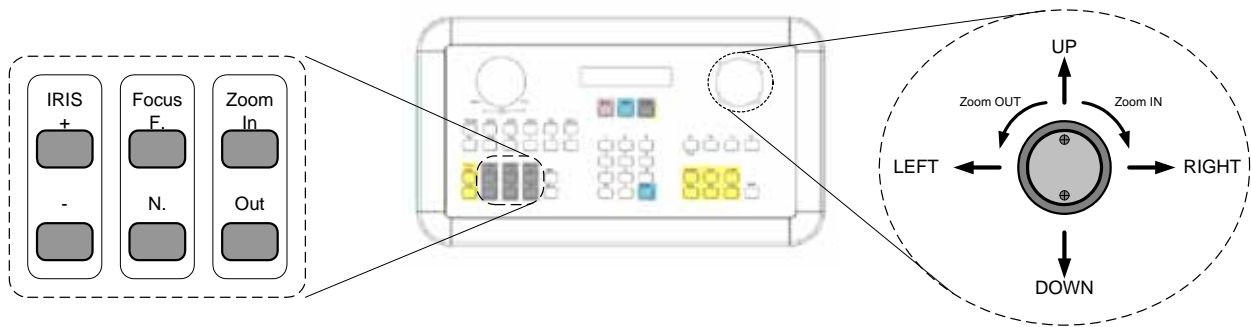
1.4. 簡易操作手順(OS-E830)

「OS-C148」と「OS-E830 (キーボード)」はケーブルを接続するだけで容易に使用する事が可能です。

1. 「OS-C148」と「OS-E830」を RS485 ケーブルで接続します
2. 「OS-C148」のビデオ出力ケーブルをモニターに接続します
3. 「OS-C148」と「OS-E830」に電源を接続します

OS-C148 の起動時に行われる自動テストモードが終了すれば「OS-E830」より「OS-C148」をコントロールする事が可能です。

OS-C148 コントロール



1. キーボード上の「CAM」ボタンを押します
2. 「1」と番号を入力し、「ENTER」ボタンを押します
3. ジョイスティックを上下左右に動かすとパンチルト動作
4. ジョイスティック上部を左右に回転するとズームイン/アウト動作
5. Zoom In/Out, Focus F./N. and IRIS +/- でズーム動作、フォーカス、アイリス変更

2 . OS-C148 設置

2.1. 同梱物一覧

設置前に以下の同梱物をご確認下さい。

- ハウジング x1
- カバー x1
- カメラモジュール x1
- 壁付けブラケット x1
- 電源アダプター x1
- ツール
 - ✧ グローブ x2
 - ✧ M5 6角レンチ x1
 - ✧ コネクター x1
 - ✧ M5 ネジ (Hex) x3 壁付けブラケット固定用
 - ✧ M3 ネジ x3 カバー固定用
 - ✧ 取扱説明書

2.2. ケーブル

電源ケーブル

電源アダプター 24V AC/3.5A を使用します。

注意: 交流電源は国によって異なりますので設置前に必ず確認して下さい。

ビデオケーブル

DVR 又はモニターとの接続に使用します。

コントロールケーブル

カスケード接続とは別のペアケーブルを使用します。

アラームケーブル

アラームケーブルは梱包されていませんが、適切なケーブルを使用します。

2.3. 初期設定について

基本設定にはカメラのアドレス、通信プロトコル、ボーレート、ビデオフォーマット、
終端抵抗が含まれます。これら全ての設定はカメラの設置前に行ってください。

カメラコントロールはアドレス、通信プロトコル、ボーレートがキーボード、DVR の
設定と一致している必要があります。





















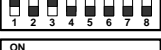



















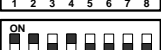

















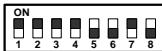
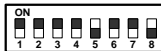








































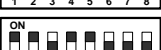
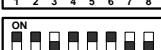










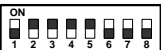
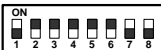
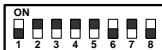
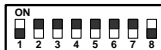

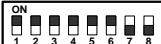
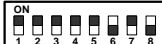









2.3.1. アドレス設定

















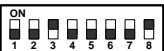
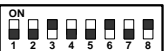






































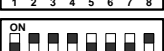
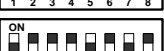


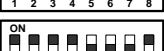
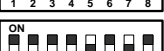


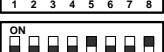
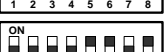



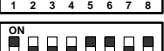

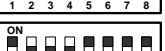







































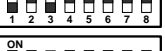
















「OS-C148」のアドレス設定は複数のカメラを制御する際に確実に設定を行ってください。アドレス設定はコントロール基盤「P5」のSW1で行います。SW1の8Bitディップスイッチはバイナリーコードを意味しており255（1～255）までのアドレスを設定可能です。従ってRS485のカスケード接続によって最大255台までのドームカメラを制御する事が可能です。ディップスイッチでのアドレス設定の詳細は次ページを参照して下さい。

注意: 初期設定ではアドレスは「1」に設定されています。

注意: 設定を行う前に必ず電源をお切り下さい。

変更した設定はOS-C148の再起動後に有効となります。

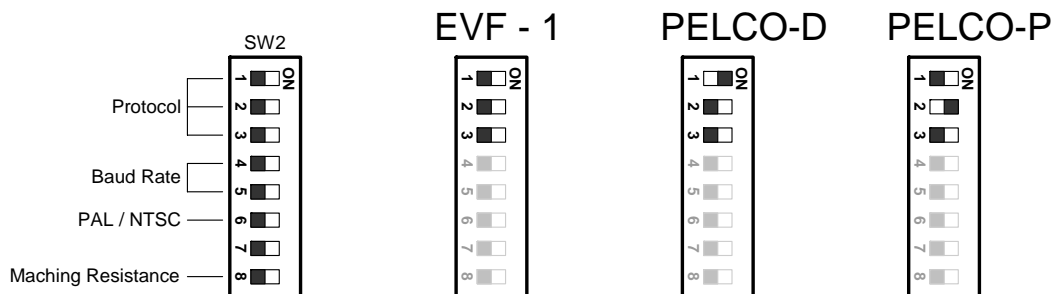
Switch	Address	Switch	Address	Switch	Address	Switch	Address
	0		32		64		96
	1		33		65		97
	2		34		66		98
	3		35		67		99
	4		36		68		100
	5		37		69		101
	6		38		70		102
	7		39		71		103
	8		40		72		104
	9		41		73		105
	10		42		74		106
	11		43		75		107
	12		44		76		108
	13		45		77		109
	14		46		78		110
	15		47		79		111
	16		48		80		112
	17		49		81		113
	18		50		82		114
	19		51		83		115
	20		52		84		116
	21		53		85		117
	22		54		86		118
	23		55		87		119
	24		56		88		120
	25		57		89		121
	26		58		90		122
	27		59		91		123
	28		60		92		124
	29		61		93		125
	30		62		94		126
	31		63		95		127

Switch	Address	Switch	Address	Switch	Address	Switch	Address
	160		160		192		224
	129		161		193		225
	130		162		194		226
	131		163		195		227
	132		164		196		228
	133		165		197		229
	134		166		198		230
	135		167		199		231
	136		168		200		232
	137		169		201		233
	138		170		202		234
	139		171		203		235
	140		172		204		236
	141		173		205		237
	142		174		206		238
	143		175		207		239
	144		176		208		240
	145		177		209		241
	146		178		210		242
	147		179		211		243
	148		180		212		244
	149		181		213		245
	150		182		214		246
	151		183		215		247
	152		184		216		248
	153		185		217		249
	154		186		218		250
	155		187		219		251
	156		188		220		252
	157		189		221		253
	158		190		222		254
	159		191		223		255

2.3.2 通信プロトコル設定

通信プロトコルはコントロール基盤の SW2 の 1～3Bit で設定します。

初期設定は「EVF-1」に設定されています。



注意: 設定を行う前に必ず電源をお切り下さい。

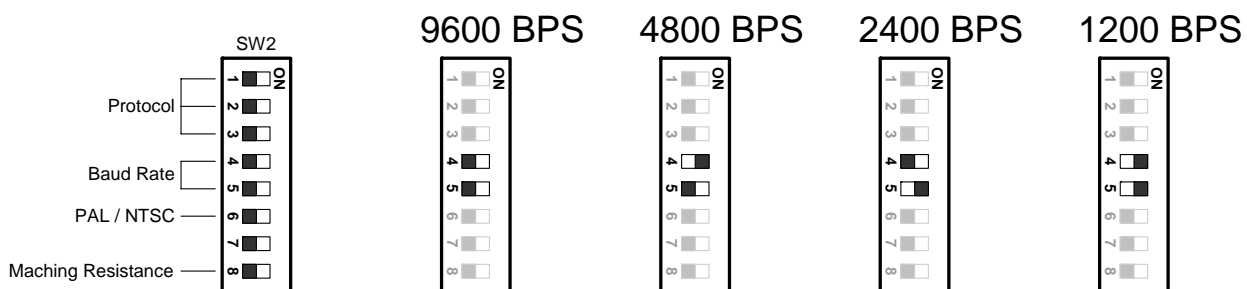
変更した設定は「OS-C148」の再起動後に有効となります。

全ての SW を ON に設定すると「OS-C148」はテストモードに切り替えます。

2.3.3 ボーレート設定

ボーレートは SW2 の 4 番目と 5 番目のスイッチで設定します。

初期設定は「9600 bits」に設定されています。



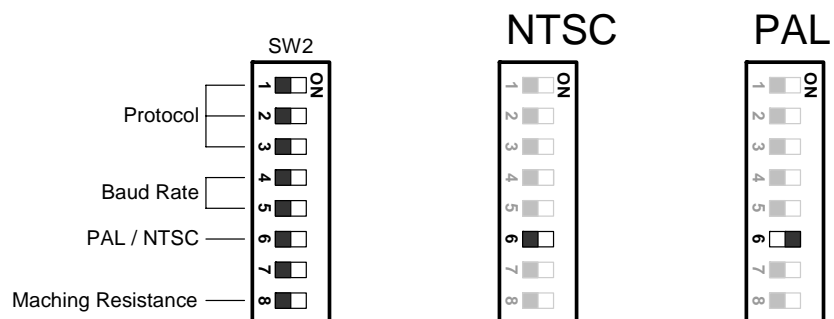
注意: 設定を行う場合は必ず電源をお切り下さい。

変更した設定は「OS-C148」の再起動後に有効になります。

2.3.4 ビデオフォーマット設定

ビデオフォーマットは SW2 の 6 番目のスイッチで設定します。

初期設定は「NTSC」に設定されています。



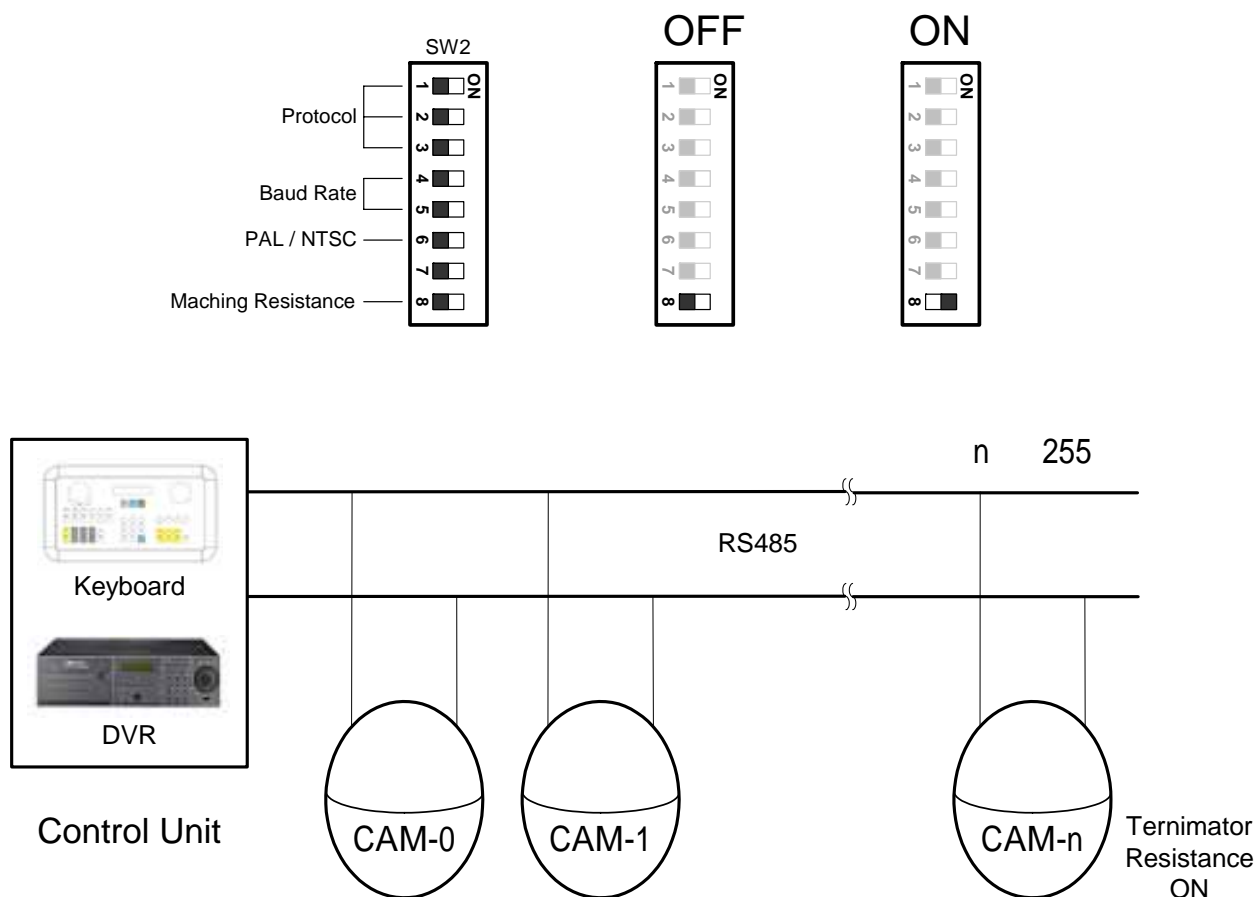
注意: 設定を行う前に必ず電源をお切り下さい。

変更した設定は再起動後に有効になります。

2.3.5 RS-485 接続時の終端抵抗

複数台のドームカメラを集中管理する場合にはコントローラーより最も離れた場所に設置されたカメラに終端抵抗の設定が必要になります。終端抵抗は SW2 の 8 番目のスイッチで設定できます。

ON にすると終端抵抗が設定されます。



注意: ドームカメラを制御しない場合、または正常に動作しない場合には終端抵抗を設定して下さい。

注意: 設定を変更する前に必ず電源をお切り下さい。

変更した設定は OS-C148 の再起動後に有効になります。

2.4 設置方法

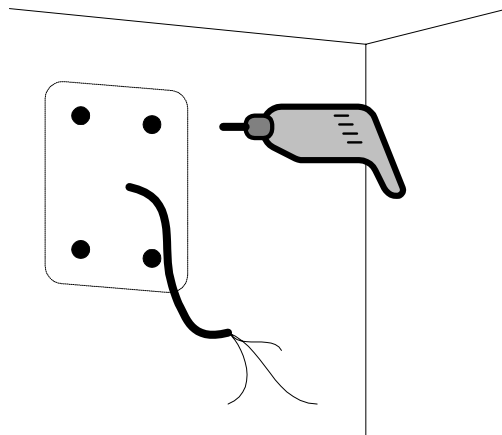
2.4.1 設置必要部材

1. 本システムの設置は専門のサービス業者または設置業者に委託されます。
2. 本システムは適切な場所に設置して下さい。

2.4.2 壁付設置

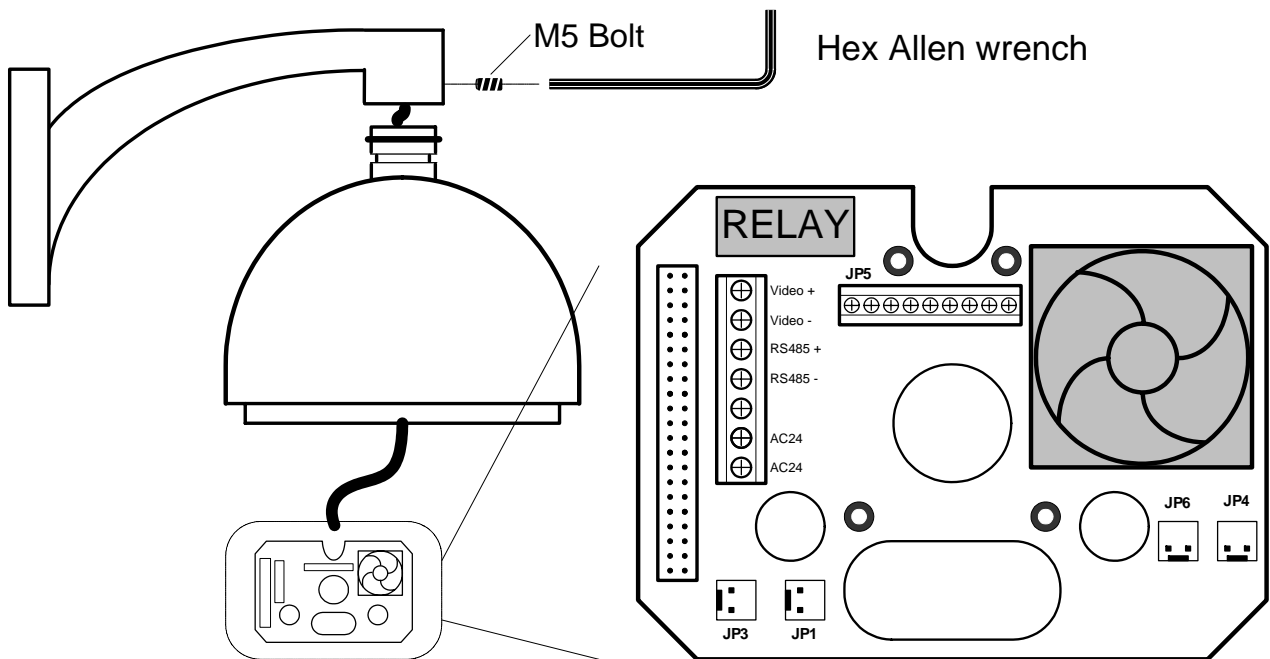
注意: 壁、ポール、天井等に設置する場合、取り付け面の強度は全カメラ重量(約 3.2kg)の約 5 倍を必要とします。

1. 壁付けブラケットを壁に取り付けます。中心を決めて取り付けブラケット用の穴を決定します。穴あけのサイズは M8 となります。

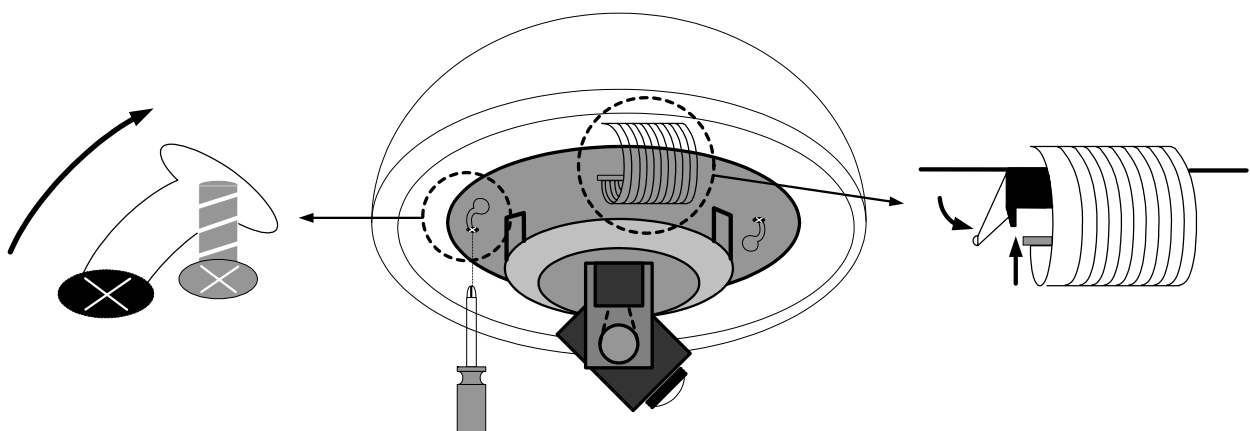


2. 壁付けブラケットにケーブルを通して M8 ナットで固定します。

3. ハウジングを開梱し内部の PCB 基盤を外した後にケーブルを上部より通します。
ハウジングはブラケットと M5 ネジで取り付けます。

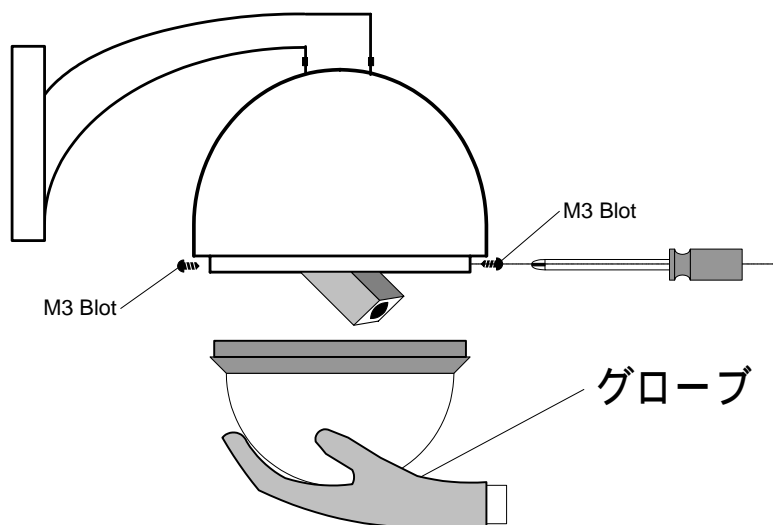


4. ケーブルを PCB 基盤のコネクターに接続しハウジングに固定します。
5. ハウジングベースに 2 つの取り付け用の穴があります。カメラモジュールを固定する際には、その穴に合わせ時計回りに少し回転し、ネジで固定します。



注意: カメラモジュールは精密機器ですので取り扱いには十分に注意して下さい。

6. カバーを取り付ける前にレンズカバーを外します。カバーの取り付けには M3 ボルトを 3 ケ使用します。



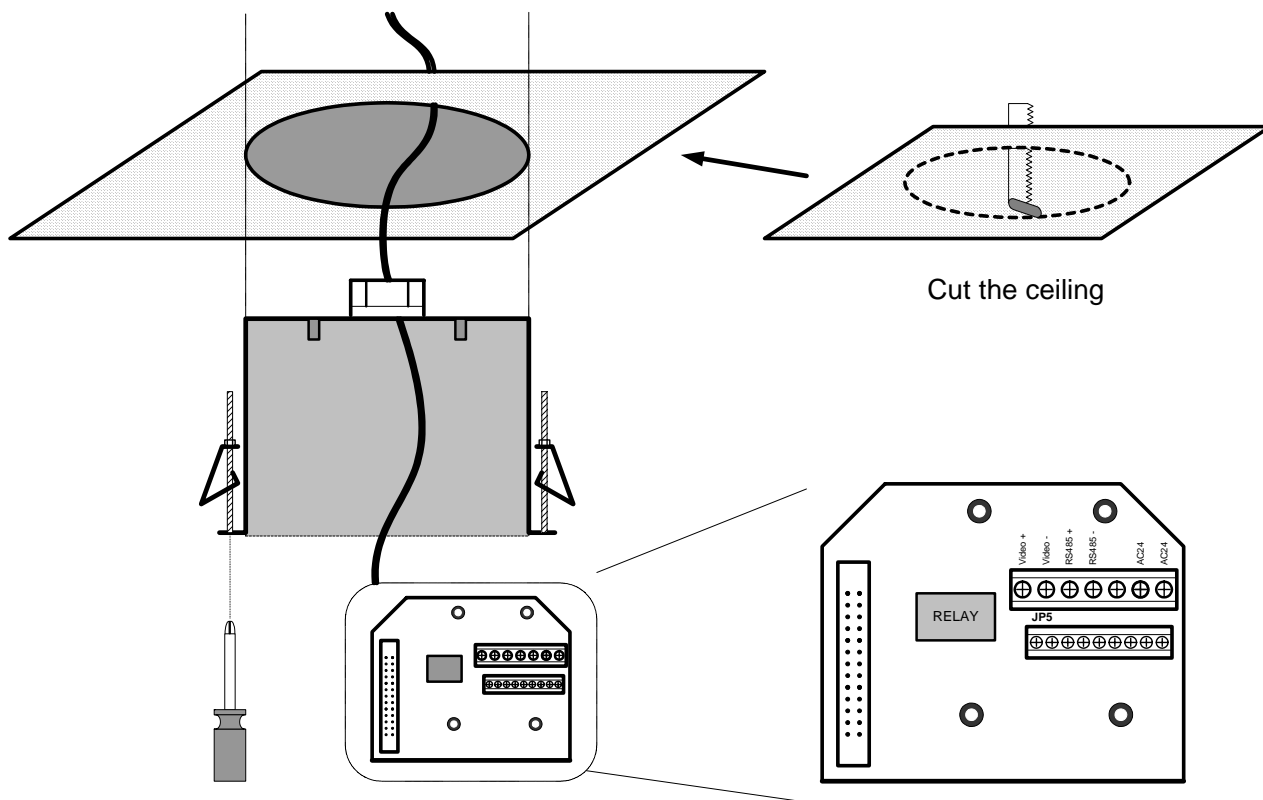
注意: 取り付けの際にカバーに傷等が付かない様にグローブを着用して下さい。

7. 電源を投入すると「OS-C148」は起動します。

電源を投下すると「OS-C148」は自動テストモードを行った後に操作可能になります。

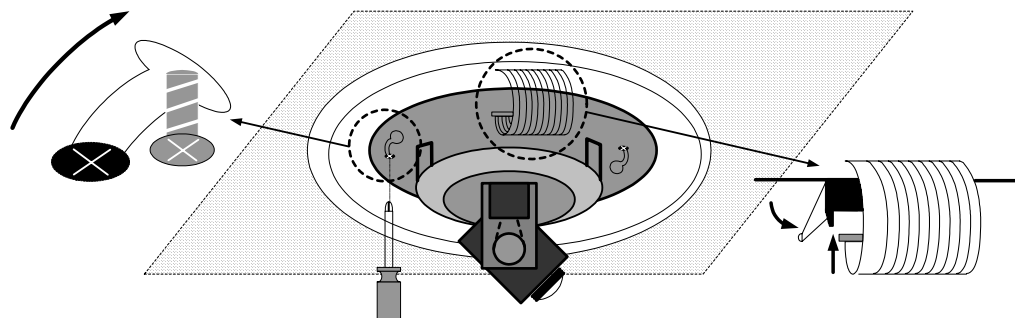
2.4.3 屋内取付

1. 内部ケースに固定されているメイン基盤を取り外してください。(ネジ×4個)で固定されています。
2. 内部ケースの大きさに天井を切り抜いてください。(ハウジングサイズ: 直径約 155mm)
3. 内部ケースの横側にある留め金を利用し、内部ケースを天井に取り付けてください。
(天井の強度に応じて、補助用の鉄製チェーン等で固定して頂く事をお奨め致します)
4. 始めに取り外したメインボードをカメラケースにネジで固定して下さい。



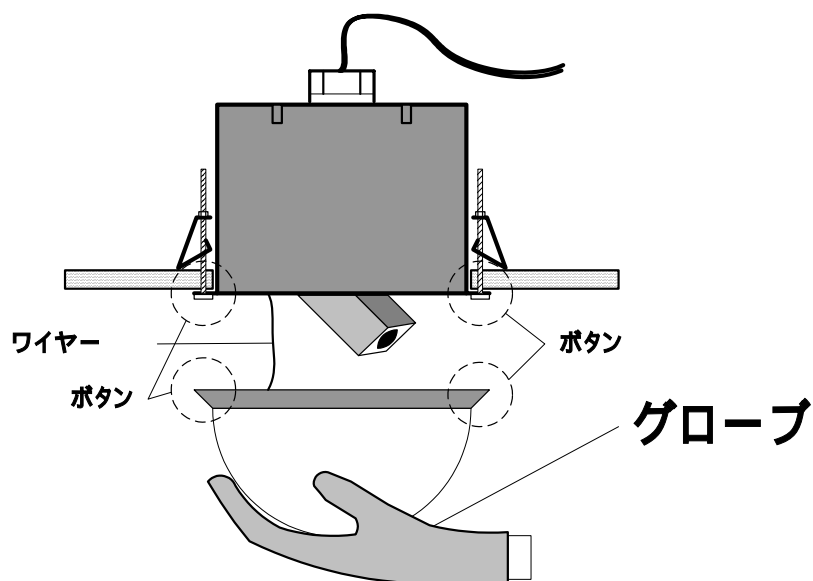
注意: 配線の極性を正しく接続して下さい。誤って接続している、カメラは正常に可動しなくなり、故障の原因にも繋がりますのでご注意ください。

5. 内部ケースにカメラモジュールを取り付けます。2箇所のネジにモジュールの穴を合わせ、時計回りに回して下さい。最後までねじ込みましたら、2箇所のネジを締め、カメラモジュールを固定して下さい。メインボードから出ている接続用ケーブルをカメラモジュールに接続して下さい。



注意: カメラモジュールは非常に精密に出来ておりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

7. レンズカバーを取り外して下さい。
8. カメラカバーの鉄製ワイヤーをカメラカバーに固定し、留め金とカメラカバーを合わせ、固定します。
9. カメラに電源を供給して下さい。



注意: カメラモジュールやレンズを触られる際には、付属の手袋をご使用下さい。

3. 機器との接続方法

3.1. OS-E830 との接続方法

1. 付属の「RS-485 ケーブル」をコントローラー (OS-E830) の「Port1」に接続します。
2. 「RS-485 ケーブル」を付属の「変換ボックス」に接続します。
3. 付属の「AC アダプタ」をコントローラーに接続します。
4. 「変換ボックス」に接続されている信号線とカメラの操作線とを接続します。

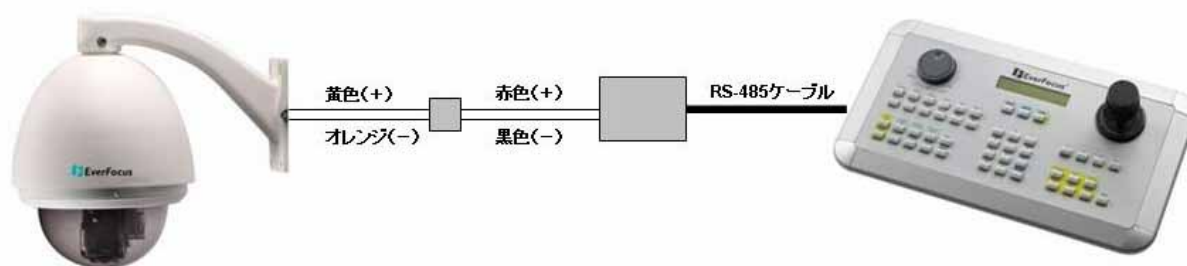
RS-485 ケーブルを延長される際には「CPEV-S 0.9 3P」をご使用になる事をお勧め致します。

< カメラ > 黄色 : RS485 +

 オレンジ : RS485 -

< コントローラー > 赤 : RS485 +

 黒 : RS485 -



3.2. DVR との接続方法

<DVR・コントローラー・スピードドームカメラ接続方法>

1. 「RS-485 ケーブル」をコントローラー（OS-E830）の「Port1」に接続します。
2. コントローラーからの「RS-485 ケーブル」を DVR の「RS-485 ポート」へ接続します。
3. DVR からの「RS-485 ケーブル」をスピードドームカメラの信号線に接続します。

RS-485 ケーブルを延長される際には「CPEV-S 0.9 3P」をご使用になる事をお勧め致します。



< 接続例 >



< コントローラー接続例 >



< DVR 接続例 >

<コントローラー設定方法>

◆ 1：コンポートセッティング

1. **Shift** を押しながら **Menu** ボタンを押すとキーボードに「メインセットアップメニュー」画面が表示されます。

```
COM Port Setting
Device Setting
```

2. **COM Port Setting** が選択されている事を確認し、**Enter** ボタンを押します。

```
COM Port Setting
Device Setting
```

3. ポート設定画面が表示されましたら、**1**を入力し、**Enter** ボタンを押します。

```
Port: 1 (1 or 2)
Input the port
```

コントローラーに挿入されているポート番号を入力してください。

コントローラーの背面図につきましては、<コントローラー接続例 (P20)> をご参照下さい。

4. ボーレート設定画面が表示されましたら、**9600** が入力されている事を確認し、**Enter** ボタンを押します。

```
BAUD: 9600 <
[ ] to change
```

ボーレートの初期設定は「9600」となっております。「OS-C148」と同一の番号を使用してください。

ボーレート設定につきましては、「2.3.3 ボーレート設定 (P13)」をご参照下さい。

5. プロトコル設定画面が表示されましたら、**EVF-1**が入力されている事を確認し、**Enter**ボタンを押します。

Protocol: **EVF-1**
[] to change

プロトコルの初期設定は「EVF-1」となっております。「OS-C148」と同一の番号を使用してください。

プロトコルの設定につきましては、「2.3.2 通信プロトコル設定 (P13)」をご参照下さい。

6. 最後に**Enter**ボタンを押し、設定を保存します。

Port: 1 changed
[ENT] to save

7. **Esc**ボタンを2回押し、終了させます。

Port: **1** (1 or 2)
Input the port

◆ 2：カメラ設定方法

1. **Shift** を押しながら **Menu** ボタンを押すとキーボードに「メインセットアップメニュー」画面が表示されます。

COM Port Setting
Device Setting

2. ジョイスティックで **Device Setting** を選択し、**Enter** ボタンを押します。

Device Setting
Keyboard Setting

3. ジョイスティックで **Camera Setting** を選択し **Enter** ボタンを押します。

Camera Setting
Monitor Setting

4. **Camera Name** で **1011** を入力し **Enter** ボタンを押します。

RS-485 アドレスとは別の番号をご使用下さい。同一の場合は操作が出来ません。

Camera Name: 1011

5. RS-485 ポート番号に **1** を入力し **Enter** ボタンを押します。

RS485 Connected to
Port : 1 [1 or 2]

コントローラーに挿入されているポート番号を入力してください。

コントローラーの背面図につきましては、＜コントローラー接続例（P20）＞
をご参照下さい。

6. RS-485 アドレスに **0001** を入力し、**Enter** ボタンを押します。

RS485 Address
0001

RS485 アドレスの初期設定は「0001」となっております。「OS-C148」と同一の番号を使用してください。

RS485 アドレスの設定につきましては、「2.3.1 アドレス設定 (P10)」をご参照下さい。

7. DVR の RS-485 ポート番号及びチャンネル番号に[DVR : 0002]及び「CH : 01」を入力し、**Enter** ボタンを押します。

Video Connected to
DVR : 0002 CH : 01

8. 再度 **Enter** ボタンを押した後、**Esc** ボタンを押します。

Camera : 0001 Changed
[ENT] to save

RS-485 アドレスと Camera Name の番号を同一にしないで下さい。同一の場合は動作しませんので、ご注意下さい。

◆ 3 : DVR 設定方法

1. **Shift** を押しながら **Menu** ボタンを押すとキーボードの「メインセットアップメニュー」に入ります。

COM Port Setting
Device Setting

2. ジョイスティックで **Device Setting** を選択し、**Enter** ボタンを押します。

Device Setting
Keyboard Setting

3. **DVR Setting** を選択し **Enter** ボタンを押します。

DVR Setting
Camera List & delete

4. **DVR Name** を入力し **Enter** ボタンを押します。

(例 : 1002 を入力)

DVR Name: <input type="text"/>

5. RS-485 ポート番号を入力し **Enter** ボタンを押します。

(例 : 1 を入力)

RS485 Connected to
Port : <input type="text"/> [1 or 2]

6. RS-485 アドレスを入力し、**Enter** ボタンを押します。

(例 : 0002)

RS485 Address : <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; background-color: #cccccc; margin-top: 5px;"></div>

7. DVR の機種を選択し **Enter** ボタンを押します。

DVR Type :
EDSR1600 <

8. 再度 **Enter** ボタンを押した後、**Esc** ボタンを押します。

DVR : 1002 Changed
[ENT] to save

RS-485 アドレスと DVR Name の番号を同一にしないで下さい。同一の場合は動作しませんので、ご注意下さい。

< DVR 設定方法 >

1. **Menu** ボタンを押した後、**コントロール設定メニュー** を選択し Enter ボタンを押します。
2. RS485 の「BAUD RATE」を PTZ カメラのボーレートと同一の番号を入力します。
初期設定：9600BPS
3. RS232/RS485 ID に 002 を選択します。
4. PTZ プロトコルに「EverFocus」を選択します。

注意：PTZ カメラの通信プロトコルには「EVF-1」をお選び下さい。他のプロトコルでは操作出来ません。



4. OS-C148 カメラ設定メニュー

ここでは「OS-C148」の設定操作について説明しています。設定箇所は22項目ありますが必要に応じて設定を行ってください。

4.1 設定メニュー概要

Items	Option
→ CAM ID	-----
→ DZOOM	OFF / ON
→ FOCUS	AUTO / MAN/ONE PUSH
→ IRIS	AUTO / MAN
→ NEGATIVE	OFF / ON
→ S.SHUTTER	AUTO / OFF
→ COLOR	OFF / ON
→ DISPLAY	OFF / ON
→ BACKLIGHT	OFF / ON
→ WBC MODE	AUTO / INDOOR / OUTDOOR / MAN
→ TITLE DISPLAY	OFF / ON
→ AUTO FLIP	OFF / ON
→ ALM-IN1 SET	N.O. /N.C. / NIGHT N.O. /NIGHT N.C. /OFF
→ ALM-IN2 SET	N.O. / N.C. / OFF
→ ALM-IN3 SET	N.O. / N.C. / OFF
→ ALM-IN4 SET	N.O. / N.C. / OFF
→ ALM-IN PRIO	1234 / 2341 / 3421 / 4123
→ ALM-OUT	OFF/ON /LATCH / 3 / 5 / 10 / 20 / 30 / 60 SEC
→ MOTION	OFF / LIMIT ENT
→ TOUR	ENT
→ X CNT	0000000000
→ Y CNT	0000000000
→ PO CNT	0000000000
→ LOAD DEFAULT	-----
→ EXIT MENU	-----

注意:「OS-E830」を使用している場合は **MENU** ボタンを押すと、モニターの左上にカメラ設定メニューが表示されます。

4.1.1 カメラ設定メニュー

MENU ボタンを押すと、モニターの左上にカメラ設定メニューが表示されます。

Shiftを押しながら、**ジョイスティック**を上下に動かすと選択項目を変更でき、**Shift**を押しながら、**ジョイスティック**左右に動かすと設定値を変更する事が可能です。

Shiftを押さずに**ジョイスティック**を操作すると、カメラが動作し、カメラの設定メニューは変化しませんので、ご注意ください。

1. CAM ID : カメラ名を設定します

2. DZOOM : デジタルズーム

ON: デジタルズーム有効

OFF: デジタルズーム無効

3. FOCUS : オートフォーカス/マニュアルフォーカスの選択

AUTO: オートフォーカス

MAN: マニュアルフォーカス

ONE PUSH: 一定の場所にフォーカスが固定されます

4. IRIS : アイリス調整

ON: オート

OFF: マニュアル

5. NEGATIVE : ナビゲートイメージ

ON: ナビゲートイメージ有効

OFF: ナビゲートイメージ無効

6. S.SHUTTER : 高感度電子シャッター

AUTO: 高感度電子シャッター自動

OFF: 高感度電子シャッター無効

高感度電子シャッターを自動設定にする事で、暗室での撮影が可能となります。

7. COLOR : カラー表示

ON: カラー表示有効

OFF: モノクロ表示有効

8. DISPLAY : システム情報の表示

ON: システム情報をスクリーンに表示

OFF: システム情報をスクリーンに表示しない

9. BACKLIGHT : バックライト

ON: バックライト有効

OFF: バックライト無効

10. WBC MODE : ホワイトバランス

AUTO: 自動ホワイトバランスモード

INDOOR: 室内ホワイトバランスモード

OUTDOOR: 屋外ホワイトバランスモード

11. TITLE DISPLAY : タイトル表示

ON: タイトルを表示します

OFF: タイトルを表示しません

12. AUTO FLIP : チルト 90° でフリップ

ON: 自動フリップ有効

OFF: 自動フリップ無効

13. ALM-IN1 SET : アラーム入力 1 ステータス

N.O.: NO アラーム入力

N.C.: NC アラーム入力

NIGHT N.O.: NO アラーム入力が認識された場合、デイナイトモードに変更

NIGHT N.C.: NC アラーム入力が認識された場合、デイナイトモードに変更

OFF: アラーム入力を使用しない

14. ALM-IN2 SET : アラーム入力 2 ステータス

N.O.: NO アラーム入力

N.C.: NC アラーム入力

OFF: アラーム入力を使用しない

15. ALM-IN3 SET : アラーム入力 3 ステータス

N.O.: NO アラーム入力

N.C.: NC アラーム入力

OFF: アラーム入力を使用しない

16. ALM-IN4 SET : アラーム入力 4 ステータス

N.O.: NO アラーム入力

N.C.: NC アラーム入力

OFF: アラーム入力を使用しない

17. ALM-IN PRIO : アラーム優先順位

1234: アラーム優先順位 1>2>3>4.

2341: アラーム優先順位 2>3>4>1.

3412: アラーム優先順位 3>4>1>2.

4123: アラーム優先順位 4>1>2>3.

18. ALM-OUT : アラーム出力

ON: アラーム出力有効

OFF: アラーム出力無効

LATCN: アラームが出力されます

3: アラームが 3 秒出力されます

5: アラームが 5 秒出力されます

10: アラームが 10 秒出力されます

20: アラームが 20 秒出力されます

30: アラームが 30 秒出力されます

60: アラームが 60 秒出力されます

アラーム入力前にポジション又はツアーを設定されていた場合は、上記の時間を越えた際に以前のポジション又はツアーに戻ります

19. MOTION : 自動パンチルト機能

OFF: 自動パンチルト機能は働きません

LIMIT ENT: 自動パンチルト機能が働きます

上記の操作には事前の設定が必要になります

20. TOUR : 自動ツアー機能

OFF: ツアー機能は働きません

LIMIT ENT: カメラのメニュー画面よりツアー機能进行操作します

上記の操作には事前の設定が必要になります

21. X CNT : 左右動作の回転数を表示します

22. Y CENT : 上下の回転数を表示します

23. PO CNT : ポジションへの動作回数を表示します

24. LOAD DEFAULT : 出荷時設定

項目を選択した後に **Enter** ボタンを押すと出荷時に戻ります。

25. EXIT : 終了

項目を選択した後に **Enter** ボタンを押すと終了します。

Clr を押しながら **Menu** ボタンを押すと前の画面に戻ります。

5. OS-C148 機能設定と操作

5.1 マニュアルコントロールモード

➤ 通常操作:

ジョイスティックを上下左右および時計回り反時計回りに動かしてカメラをコントロールします。ズーム、フォーカス、アイリス等も操作可能です。

➤ ホームモード:

設定時間を超過してキーボード操作が行われなかった場合、指定した位置に自動的に戻る機能です。また、**Home**ボタンを押しても有効になります。

➤ ホームモードの設定方法:

1. **Set**を押しながら**Home**ボタンを押します。
2. 設定時間(操作が終了してからの滞留時間)を入力し、**Enter**ボタンを押します。

```
Back to home if no  
action for _ _ _ Minute
```

3. ホームポジションを決めた後、**Enter**ボタンを押します。

```
More to home position  
[ ENT ] to confirm
```

4. **Disabled**(無効)又は**Enabled**(有効)を選択し、**Enter**ボタンを押します。

```
Auto Back Enabled  
[       ] to toggle
```

5.2 自動パンモード

➤ 2ポイント自動パンモード:

1. **A.Pan** ボタンを押すと自動パンモードに切り替ります。
2. 自動パンのスピードを 1 ~ 127 ° / S で設定し **Enter** ボタンを押します。

Speed : [1-127]
[ENT] to start

➤ 2ポイント自動パンモードの設定:

3. **Set** を押しながら **A.Pan** ボタンを押します。
4. ポジション A を選定後、滞留時間を 1 ~ 239 秒で設定し **Enter** ボタンを押します。

Position Left
Dwell : [1-127]

5. ポジション B を選定後、滞留時間を 1 ~ 239 秒で設定し **Enter** ボタンを押します。

Position Right
Dell : [1-127]

- **360° 自動パンモード:**360°を指定したスピードで移動します。

1. **Shift** + **A.Pan** ボタンを押します。

Speed : [1-127]
[**ENT**] to start

2. 自動パンのスピードを 1 ~ 239 ° /S で設定し **Enter** ボタンを押します。
上下の動きは行いません。

5.3 プリセット設定

- **プリセットポジションの操作方法:**

1. 番号キーを押して **Position** ボタンを押す
2. **Enter** ボタンを押すと指定したプリセットポジションに移動します。

- **プリセットポジションの設定:**

1. ジョイスティックで設定するポジションにカメラを移動し、**Shift** を押しながら **Position** ボタンを押します。
2. 次にプリセットポジションに番号を 1~239 の範囲で設定し、**Enter** ボタンを押すと設定は保存されます。

Camera : 1011 Save to
Position :

プリセットポジションは最大 192 箇所まで設定出来ます。

➤ プリセットポジションパラメーターの設定:

1. **Set** を押しながら **Position** ボタンを押してプリセットポジションのパラメーターを設定します。
2. 設定したポジションを選定し、Position(ポジション番号)を入力後(1 ~ 192) **Enter** ボタンを押します。

Set Camera : 1011

Position : [1-192]

3. 動作速度(1 ~ 239 ° / 秒)を入力後、**Enter** ボタンを押します。

Set Position : 1

Speed: [1-239]

4. 滞留時間(1 ~ 239 秒)を選定後、**Enter** ボタンを押します。

Set Position : 1

Dwell: [1-239]

➤ プリセットポジションの削除:

1. **Clr** を押しながら **Position** ボタンを押します。
2. 削除するプリセットポジション番号を押し最後に **Enter** ボタンを押します。

Camera: 1011

Del Position:

5.4 ツアーモード

ツアーモードではツアー表示を設定出来ます。最大 16 ツアーまで設定でき、各ツアーには 16 プリセットポジションまで設定出来ます。

➤ One-way ツアーモードの操作方法:

1. **Tour** ボタンを押し、ツアー登録番号を入力し、**Enter** ボタンを押すとツアーが開始されます。

Run Camera:1011

Tour: [0,1-16]

注意：プリセットは事前に設定しておく必要があります。

➤ To-and-fro ツアーモードの操作方法:

1. **Shift** を押しながら **Tour** ボタンを押し、ツアー登録番号を入力し、**Enter** ボタンを押すとツアーが開始されます。

Set Camera:1011

Tour: [0,1-16]

注意: One-way ツアーと To-and-fro ツアーの違いは以下になります。

例えば、3つのツアープリセットポジション(1,2,3)が設定されているとしてカメラが
1 2 3 1 2 3 と動作する場合は One-way ツアーモードとなり、1 2 3 2 1 となる場合が To-and-fro ツアーモードになります。

➤ プリセットツアーの設定:

1. **Set** を押しながら **Tour** ボタンを押し、ツアー登録番号を入力し、**Enter** ボタンを押します。

Set Camera:1011

Tour: [0,1-16]

2. プリセット番号を押した後に **Enter** ボタンを押します。

Add Position # 01:

[ENT/STOP]

3. 次のプリセット番号を入力後、**Enter** ボタンを押します。

プリセット番号は登録した 239 まで設定出来ます。

4. プリセット設定を終了後、**Stop** ボタンを押します。

5. ツアー番号を入力後、**Enter** ボタンを押します。

Tour : 1 Pos # 01 : 001 <

[ENT] to save

プリセットは事前に設定しておく必要があります。

5.5 アラーム発報時のプリセット/ツアーの連動

OS-C148 は 4 つのアラーム入力それぞれにプリセットポジションを連動して動作させる事が出来ます。

➤ アラームリンク設定:

1. **F1** ボタンを押した後に、アラーム番号を入力し、**Enter** ボタンを押します。

Link Alarm : __ [1-4] to
Position : [] : __ _ _

2. ジョイスティックでプリセットポジションまたはツアー番号を選択し、**Enter** ボタンを押します。

Link Alarm : __ [1-4] to
Position : [] : __ _ _

3. 選択したプリセットポジション及びツアーの番号を入力し、**Enter** を押すと設定は保存されます。

Link Alarm : __ [1-4] to
Position : [] : <u> </u> <u> </u> <u> </u>

➤ アラームリンク削除:

1. **Clr** を押しながら **F1** を押します。
2. 削除するアラーム番号を入力し、**Enter** ボタンを押します。

Del AlarmLink : __ [1-4]
[ENT] to confirm

アラーム入・出力を使用する際には「カメラ設定」を行なう必要があります。
詳細につきましては、「4.1.1 カメラ設定メニュー (P23～26)」をご参照下さい。

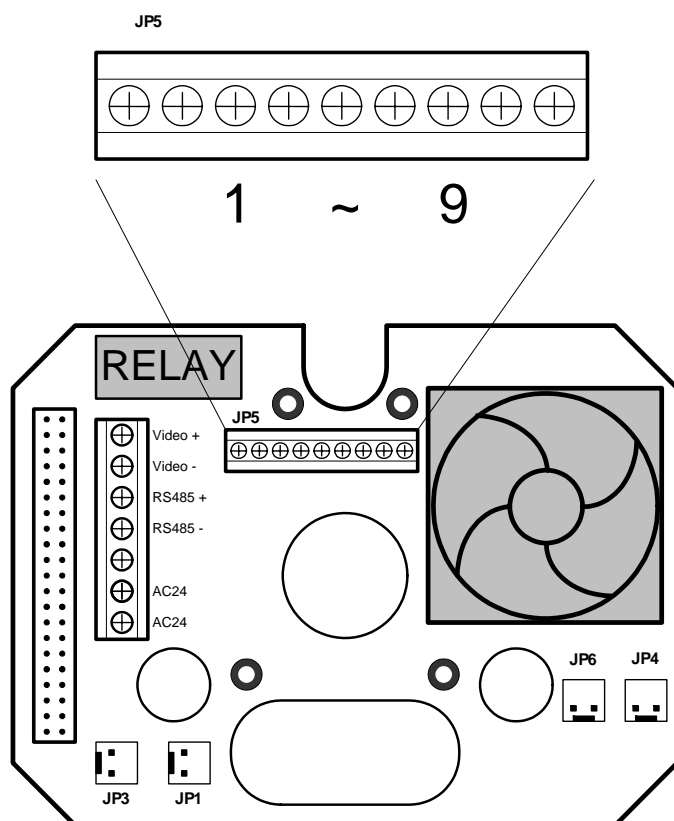
5.6 その他の操作

「OS-C148」は DVR と連動して PTZ 操作を行う事が出来ます。操作可能な機能は DVR によって異なります。

「OS-C148」は PTZ 機能を備えたキーボードと連動して操作を行う事も出来ます。操作可能な機能はキーボードにより異なります。

APPENDIX A: アラーム I/O 接続

4つのアラーム入力と1アラーム出力のポートが用意されています。アラーム I/O コネクターは JP5 の 9 ピンコネクターでハウジング内部の PCB 基盤に実装されています。



Pin #	Function
1	アラーム入力 4
2	Ground
3	アラーム入力 3
4	アラーム入力 2
5	Ground
6	アラーム入力 1
7	Normal Open (N.O.)
8	Common (COM)
9	Normal Close (N.C.)



販売元：オンセールス株式会社

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 1 丁目 2-5 日之出ビル 博多駅前 4F
Tel. 092-481-2125 Fax. 092-481-2204